

2024年1月17日
報道関係者各位

社員や家族、地域のコインランドリー利用者さまとともに 開発途上国へ約2,500着の衣類を寄付しました！

株式会社ガスパル（本社：東京都品川区代表取締役社長：橋本俊昭）は、大東建託グループで参加している、認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会の「古着deワクチンまごころプロジェクト」を通じて約2,500着*の衣類を寄付いたしました。

*専用回収キット50袋分を回収。1袋=50着として換算。

1) 「古着deワクチンまごころプロジェクト」とは

- ・着なくなった服を回収し、開発途上国を中心に現地で再利用されます
- ・参画数量に応じて開発途上国の子どもたちにポリオワクチンが届けられます

【参考】WEBサイト：<https://furugidevaccine.etsl.jp/about/>

2) 全国の事業所や、自社コインランドリーにも回収BOXを設置 衣類約2,500着を寄付

地球由来のエネルギーを扱うインフラ企業として、人々の暮らしや地球環境の保全につながる本活動に賛同しています。

全国のガスパルグループ事業所および、衣類と親和性が高いことから自社コインランドリー店舗の一部にも回収BOXを設置。自身にできることを考え、社員同士が呼びかけあって各家庭などから衣類を持ち寄ったほか、ランドリー利用のお客さまにもご協力いただきました。

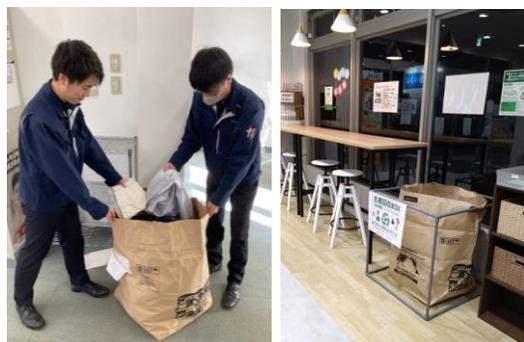
社員からは、「想定以上にたくさん集めることができた。ランドリー利用のお客さまにもご参画いただき嬉しく思う」などの声が寄せられました。

回収期間：2023年11月21日～12月22日

回収袋数：50袋

（専用回収キット1袋=およそ160サイズ）

回収衣類数：約2,500着（1袋=50着として換算）



▲写真：事業所での回収の様子（上、左下）
ランドリー店舗にも回収BOXを設置（右下）

大東建託グループのエネルギー事業を担う会社として、当社では今後もSDGs達成に努めてまいります。

Gaspalは、Gasのワクを超えて、総合エネルギー企業へ